



MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS
OF DENMARK
The Trade Council

THE BRAIN PRIZE

Founded by the
Lundbeck Foundation

2023年度Brain Prize Nomination Season Now Open

5月2日 - 9月1日

Brain Prizeについて

Brain Prize は神経科学研究における世界最大の賞で、ルンドベック財団が毎年授与しています。基礎神経科学から応用臨床研究まで、脳に関する独創的で、かつ、多大な影響力を持つ研究を表彰するものです。Brain Prize の選考は国籍も研究拠点国も問いません。2011 年の第 1 回以来、9 カ国 41 人の科学者がこの賞を受賞しています。受賞者については[こちら](#)をご参照ください。

Brain Prize は、デンマークの首都コペンハーゲンで開催される授賞式にてデンマーク皇太子殿下より授与されます。

日本を含め、全世界から受賞候補者の推薦を受け付けております。締め切りは**9月1日（木）**となります。こちらの詳細をご覧ください。[Nominations | The Lundbeck Foundation \(lundbeckfonden.com\)](#)（英語のみ）

駐日デンマーク大使・ピーター タクソ-イエンセンよりコメント



ニューロサイエンスの分野で世界的に最も権威ある賞がデンマークにあることを、私たちは大変誇りに思っています。2011 年以來、優れた研究成果を評し Brain Prize が授与されてきました。日本では、素晴らしいニューロサイエンス研究が多数行われていると聞き及んでいますので、2023 年度版 Brain Prize への日本の研究者の皆様の応募を、心よりお待ちしております。

お問い合わせ（英語）：

Martin Meyer

ルンドベック財団 The Brain Prizeディレクター

Email: mm@lundbeckfonden.com

tel. +45 2033 5228

お問い合わせ（日本語）：

滝沢ピーター

デンマーク王国大使館・商務部

Email: petaki@um.dk

tel. 090 2497 8072



THE BRAIN PRIZE

Founded by the
Lundbeck Foundation

The 2022 Brain Prize Winners

神経系の運動制御に関する先駆的な研究が、世界最大の脳科学賞を受賞

スイス、デンマーク、米国／ニュージーランド出身の3名の神経科学者国際研究グループが、運動制御を担う脳および脊髄の神経細胞の種類と回路のマッピングを行い、神経系内部の働きを明らかにしました。

同研究は、運動に関する理解を飛躍的に前進させたことが認められ、神経科学界の世界最高峰である2022年度のBrain Prizeを受賞しました。

Brain Prize はルンドベック財団が毎年授与するもので、賞金は 1,000 万デンマーククローネ（約 110 万ポンド、150 万ドル、130 万ユーロ）です。

本賞は、2022 年 5 月 24 日、コペンハーゲンにてデンマーク皇太子殿下主宰の授賞式で授与されました。

私たちと外界の関わり合い方はすべて運動能力に依存しています。神経系がどのように運動機能を生み出すかを理解することは神経科学の根本的な目的であり、怪我や病気で損なわれた運動機能を回復させる新たな方法を考案する上での核となります。

Silvia Arber氏（スイス）、**Ole Kiehn**氏（デンマーク）、**Martyn Goulding**氏（米国／ニュージーランド）という世界的に著名な3人の神経科学者が、運動を制御する特定の細胞型や回路についての理解を躍進させました。

ルンドベック財団はこの画期的な研究成果に対しBrain Prizeの賞金1,000万デンマーククローネ（約150万ドル、130万ユーロ）を授与することを決定しました。

これは基礎神経科学における画期的な発見であるだけでなく、ALS、パーキンソン病、脊髄損傷などの運動障害における細胞型特異的診断やてこいれの必要性を明らかにし、その道を開くものです。

Brain Prize 選考委員長を務めたエジンバラ大学の Richard Morris 教授は以下のように述べています。「運動は人間の基本的な能力です。赤ちゃんが踏み出す最初の一步から、自転車に乗るための平衡感覚や敏捷性まで、私たちの活動は常に動きを伴います。脳や脊髄がどのように運動を制御しているかを理解することは、科学における極めて大きな課題です。3 人の受賞者が成し遂げた研究



の偉業は、脳幹回路の複雑な発火によって運動の意思がどのように指、腕、脚などの筋肉を制御する脊髄の特定のパターン形成細胞まで伝達されるのかを解明する一助となりました。」

各受賞者によるコメントは以下の通りです。

Silvia Arber教授：

「身体運動を制御する神経回路の構成と機能に関する私たちの研究がBrain Prizeを受賞したことを大変光栄に思います。これは長年のチーム研究の成果への褒賞です。同時に、今後も目標に向かって研究を続け、運動システムの秘密をさらに掘り下げていくための大きな励みになります。」

Ole Kiehn教授：

「2022年Brain Prize受賞の知らせを受け驚いています。大変嬉しく、また、光栄であり、共同受賞者と喜びを分かち合いたいと思います。自分の専門分野の基礎科学が高く評価されたことを大変ありがたく思います。運動磁場と、それが脳機能の理解にもたらした洞察、そして多くの方々の貢献が認められたものと考えています。」

Martyn Goulding教授：

「2022年Brain Prizeを受賞できたことを光栄に思います。ロコモーションを生成・制御する脊髄および脳回路の機能マッピングという運動制御分野の重要な研究を評価していただきました。運動は、私たちが扱っているような複雑な神経系によって生み出されており、ロコモーションや他の運動行動の研究から得られる基礎的な洞察は脳内の働きを理解するうえで中核となるものです。」

Brain Prizeについて

Brain Prize は神経科学研究に与えられる世界最大の賞で、ルンドベック財団が毎年授与しています。基礎神経科学から応用臨床研究まで、脳に関する独創的で多大な影響力を持つ研究を表彰するものです。Brain Prize の選考は国籍も研究拠点国も問いません。2011年の第1回以来、9カ国41人の科学者がこの賞を受賞しています。受賞者については[こちら](#)をご参照ください。Brain Prize は、デンマークの首都コペンハーゲンで開催される授賞式にてデンマーク皇太子殿下より授与されます。

ルンドベック財団について

ルンドベック財団は、幅広い商業・慈善活動を行う営利目的の財団です。全ての活動は「Bringing Discoveries to Lives（生命に発見をもたらす）」という強い目的を共有しています。財団はLundbeck、Falck、ALKという国際的なヘルスケア企業を長期にわたり傘下に収め、金融市場への営利目的の投資、デンマークの研究を土台としたバイオテクノロジー企業への投資、デンマークの大学の科学部門の人材やプログラムへの慈善的助成金を通じて、ビジネス、科学、人への活発な投資を行っています。また慈善事業の一環として、神経科学分野の個人に与えられる世界最大の賞であるBrain Prizeをはじめ、脳科学分野を中心に、年間6億デンマーククローネを超える助成金を支出しています。



編集者各位：

本年の受賞者について

本年の受賞者の経歴および自己紹介のフルバージョンは[information pack](#)をご覧ください。また受賞者発表後、www.Lundbeckfonden.comにてBrain Prize発表動画をご視聴いただけます。

お問い合わせ：

Jesper Sloth Møller

ルンドベック財団メディア広報責任者

Email: jsm@lundbeckfonden.com tel. +45 2233 8601

Martin Meyer

ルンドベック財団 The Brain Prizeディレクター

Email: mm@lundbeckfonden.com tel. +45 2033 5228